

帯状疱疹 と PHN

帯状疱疹

水痘・帯状疱疹ウイルスによって引き起こされるウイルス感染症

水痘・帯状疱疹ウイルス

初感染： **水痘**



(三叉神経節, 脊髄感覚神経節
に**潜伏感染**)

臨床症状のない再活性化を繰り返す



細胞性免疫の低下

帯状疱疹

帯状疱疹発症の原因

悪性リンパ腫, 白血病, 化学療法
免疫抑制剤, AIDS.....

90%は明らかな基礎疾患がない

細胞性免疫は**加齢**とともに低下

帯状疱疹の発病率 (/1000人/年)

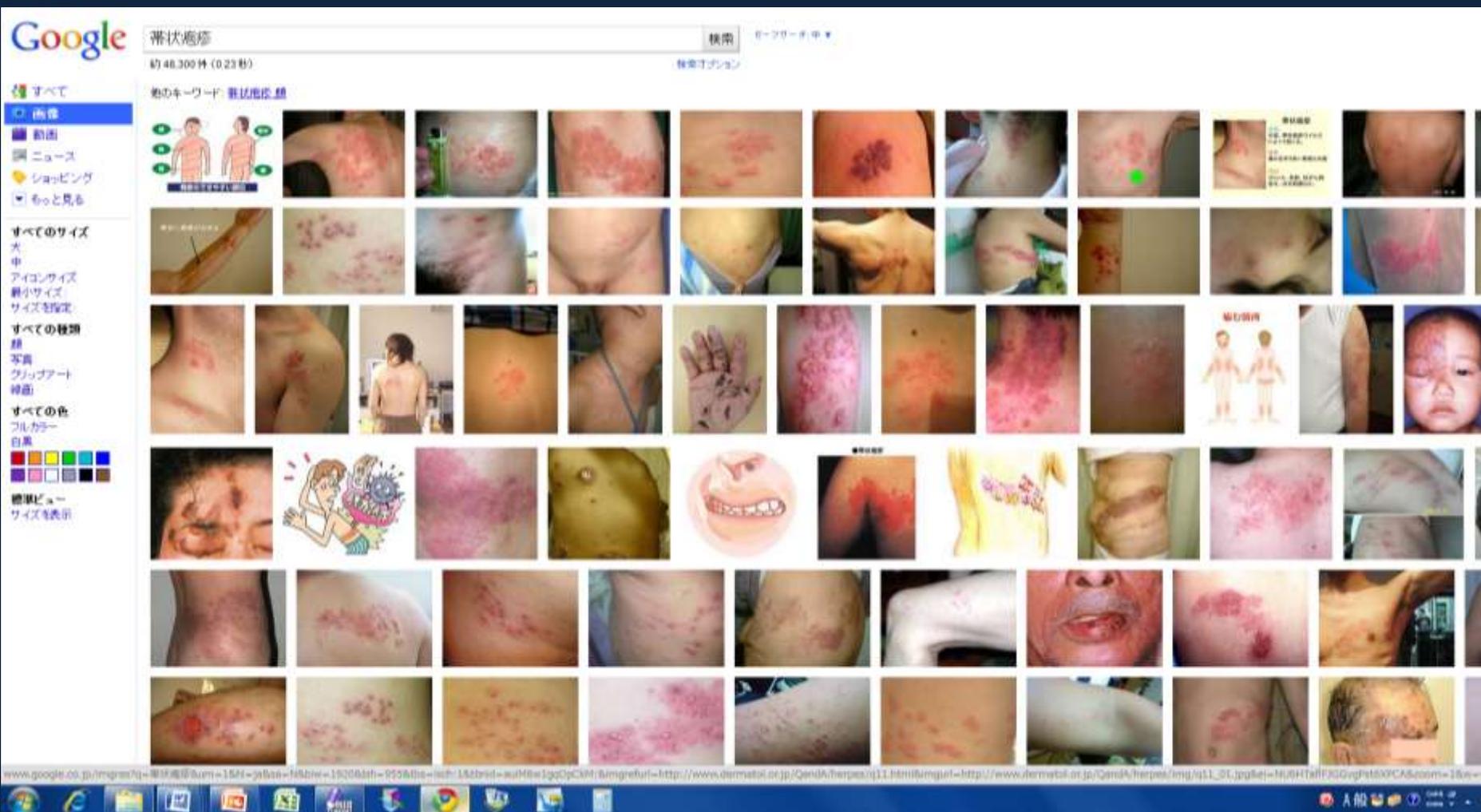
50歳以下： **2-3名**

80歳以上： **12名** (50%発症)

1年間に**50万人**が発症 (日本)

带状疱疹

臨床症状： 支配神経領域に沿った**皮疹**，急性**带状疱疹痛**



帯状疱疹

臨床症状： 支配神経領域に沿った**皮疹**, **急性帯状疱疹痛**

治療： 抗ウイルス薬 (アシクロビル, バラシクロビル)

皮疹は1週間程度で治癒

急性帯状疱疹痛

皮膚・神経の**炎症**による**侵害受容性疼痛**が主

多くは, 帯状疱疹発症後**1-3ヶ月**までに自然消失

適切に抗ウイルス薬で治療しても, **10-25%**で**痛みが残存**



帯状疱疹後神経痛 (postherpetic neuralgia: **PHN**)

帯状疱疹後神経痛(PHN)

定義

帯状疱疹の旧皮疹部の慢性の痛み

皮疹発症から3ヵ月以上経過しても、残存した痛みが日常生活を障害している

臨床像

ひりひり, ちかちか, 焼ける痛み(60%)

電気が走る, えぐられる(20%)

疼痛部位の触覚, 痛覚, 温・冷覚は低下し, アロディニアを生じる

QOLを著しく低下させる

帯状疱疹後神経痛(PHN)

発現機序

明らかとなっていない。

帯状疱疹後神経痛(PHN)

PHNへ移行する危険因子

50歳以上

重症皮疹 (分節の75%以上で50%)

前駆痛(hazard ratio 1.30倍)

急性期の高度疼痛(hazard ratio 2.33倍)

持続する高度の侵害受容性疼痛 → 中枢感作 → 神経障害性疼痛

帯状疱疹の発症早期からの神経障害疼痛の治療が進められる

帯状疱疹後神経痛(PHN)

治療 三環系抗うつ薬, 抗痙攣薬の服用が中心
治療困難例ではオピオイドも考慮

帯状疱疹後神経痛(PHN)

治療必要数 Number needed to treat: **NNT**

ある介入を患者に行った場合、一人に効果が現れるまでに何人に介入する必要があるのかを表す数字。

ある薬物を3名に投与すると1名に治療効果があれば、“**NNT3**”

値が1.0に近いほど、有効性の高い治療法である。

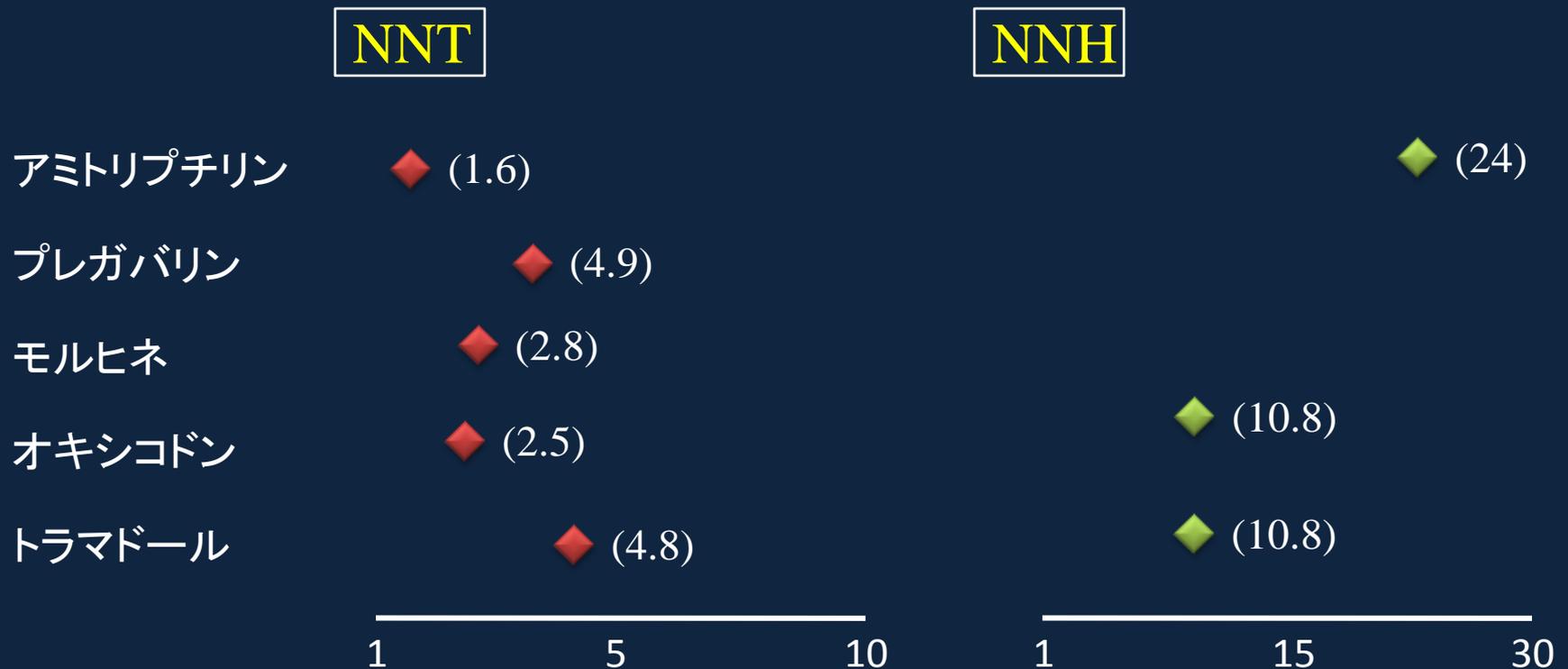
有害必要数 Number needed to harm: **NNH**

何人治療することで1人に害(副作用)が生じるか？という指標。

ある薬物を3名に投与すると1名に副作用があれば、“**NNH3**”

値が1.0に近いほど、副作用の危険性が高い治療法である。

帯状疱疹後神経痛(PHN)



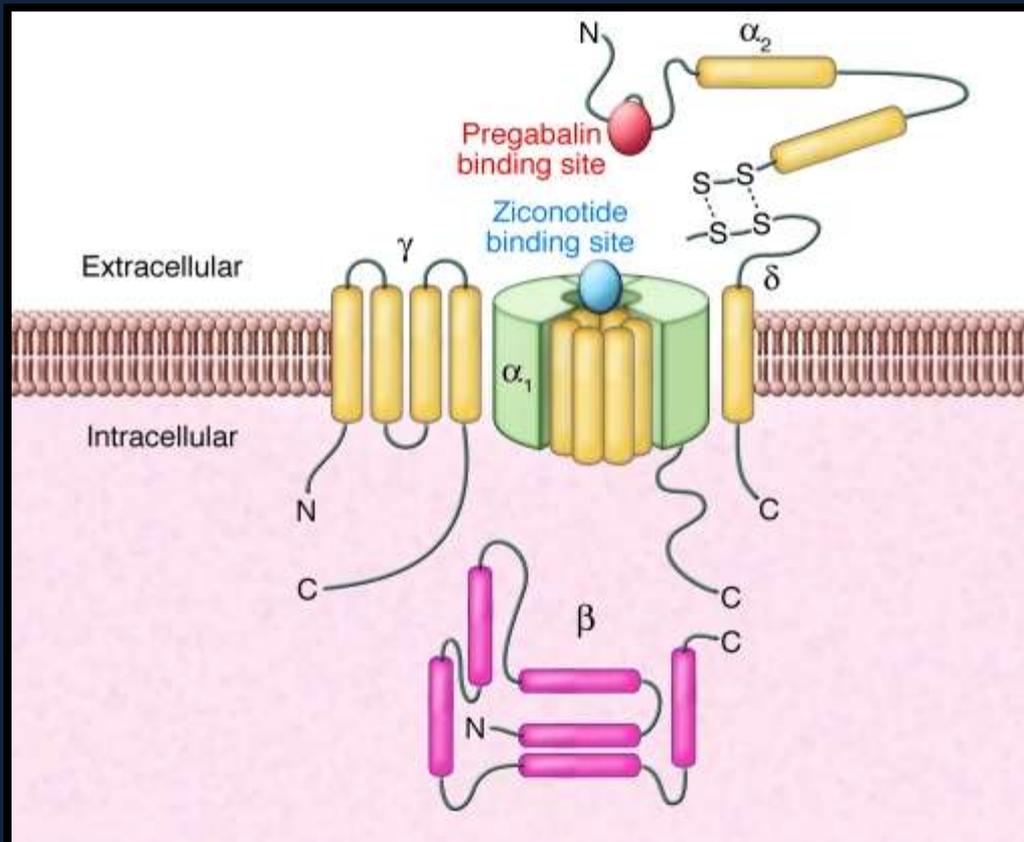
NMDA拮抗薬, ロラゼパム, 選択的Cox2阻害薬では, PHNの疼痛軽減は得られない。

局所用リドカイン: アロディニアが認められる領域が小さいPHNに効果がある。

帯状疱疹後神経痛(PHN)

プレガバリンの薬理作用

脊髄後角に発現する電位依存性Ca²⁺チャネルの $\alpha_2\delta$ サブユニットに作用

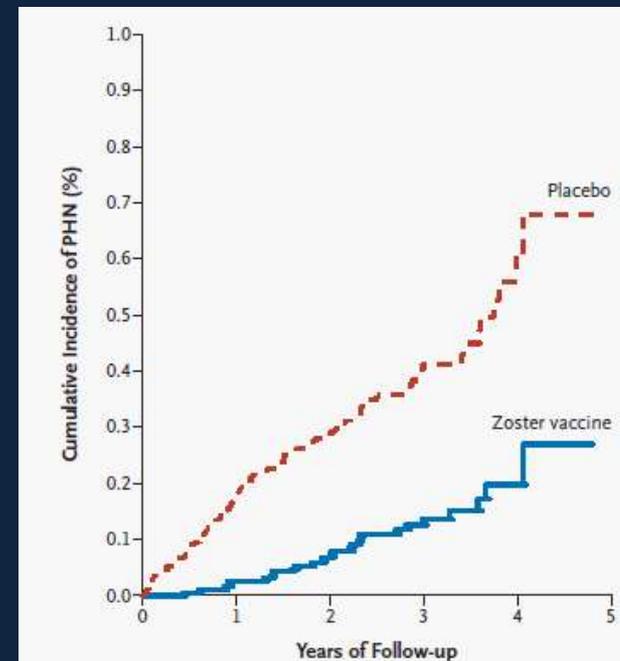
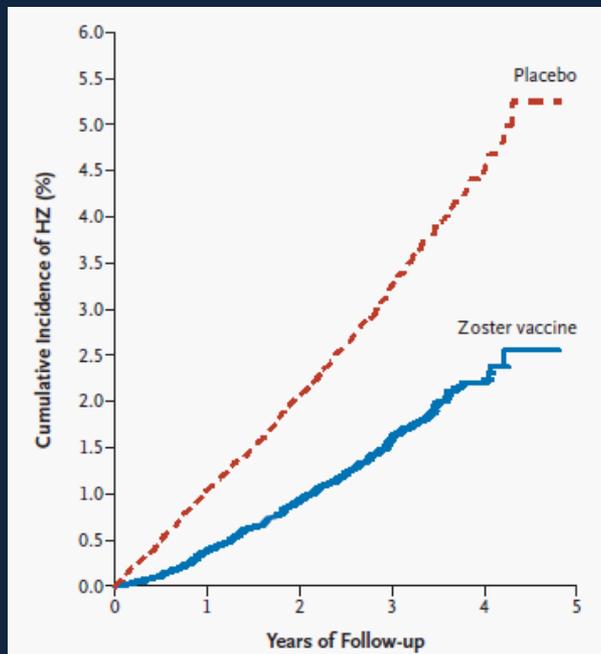


帯状疱疹後神経痛(PHN)

帯状疱疹の発症防止

帯状疱疹ワクチン接種で、高齢者の**帯状疱疹の罹患率が著明に低下**

60歳以上の3万8,546例を対象とした大規模ランダム化2重盲検プラセボ対照試験



60歳以上の成人に対しての帯状疱疹ワクチンの1回接種が勧告されています